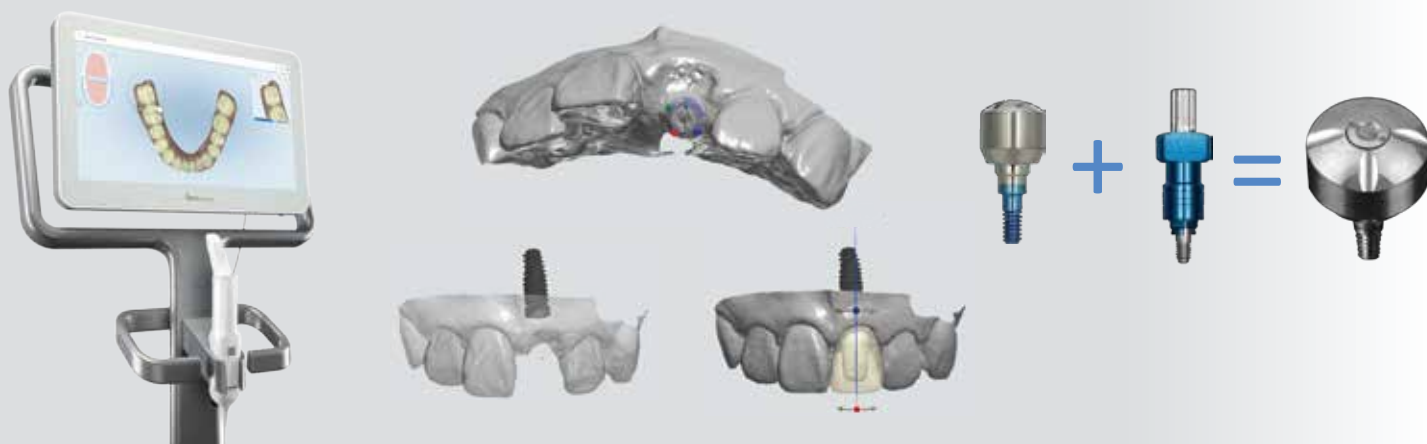


ZIMMER BIOMET Implant



iTero発売記念・Digital Dentistryウェブキャスト

インプラント治療における口腔内スキャナーの 応用と補綴のデジタルワークフロー



- 対象**
- 正確かつ効率的な補綴を目指す先生方
 - これからのインプラント治療の質を
より高めたい先生方

日時 2020年
6月21日 ①
 10:00～12:00(受付開始 9:30～)

会場 オンライン
 Web申し込みページ：
<http://zimmerbiometdental.jp/events/#20200621>

受講料 無料

講師

本間 輝章 先生

【略歴】

- ・2004年に日本歯科大学卒業、臨床研修医を経て(医)本間歯科勤務、1年半の臨床の後、米国ニューヨーク大学に留学。
- ・米国ニューヨーク大学総合診療科を卒業、その後インプラントペリオ科に進み、デニス ターナーに師事。
- ・2010年に帰国し再び(医)本間歯科のグループ診療所にて診療にあたる傍ら、国際学会発表、通訳、翻訳業務を行っている。



web
申し込みページ



iTero発売記念・Digital Dentistryウェブキャスト

インプラント治療における 口腔内スキャナーの応用と 補綴のデジタルワークフロー

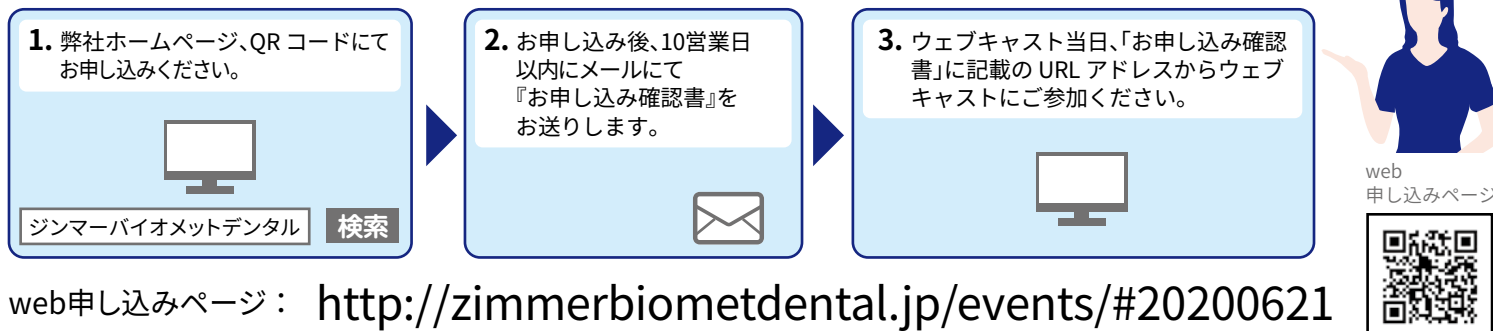
プログラム

- デジタル印象の概要と原理原則
- 通常インプレッション工程とデジタル・インプレッション工程
- iTero 口腔内スキャナー
- Encode® インプレッションシステム

概要

歯科インプラント治療において、インプラントレベルの印象法は、ブローネマルク・プロトコル以来普遍的に用いられている方法です。この従来法は、インプラントプラットフォームより幾度と部品の着脱を要するため、インプラント周囲の硬・軟組織の吸収を引き起こしうる上に、石膏模型や印象材により生じる誤差の可能性も懸念されるため、患者・術者への負担が大きくなります。そこで、口腔内スキャナー(IOS)による光学印象、デジタルでインプラントの埋入位置が読込可能なヒーリングアバットメント、CAD/CAM、3-Dプリンタといったデジタル技術を応用することで、従来法の問題点を最小限に抑え、部品の着脱も1回にとどめることで周囲組織の温存にも寄与し、患者・術者双方の負担が軽減できるのではないかと期待されます。このウェブキャストでは、インプラント埋入から補綴に至るプロセスの中で、チェアタイムの短縮と補綴精度の向上、ひいてはインプラント治療の良好な予後に寄与しうる、iTero 口腔内スキャナーと、BellaTek® Encode® ヒーリングアバットメントを応用した最新デジタル技術による革新的なソリューションについて解説いたします。

■お申し込み方法



web申し込みページ：<http://zimmerbiometdental.jp/events/#20200621>

■お問合せ先は

**ジンマー・バイオメット・デンタル合同会社
エデュケーション部**
 〒105-0014 東京都港区芝2-7-17 住友芝公園ビル12F
 TEL：03-5730-3131 FAX：03-5730-3133 (担当：早澤)
<http://zimmerbiometdental.jp/>

【個人情報の取り扱いについて】

- ・ご提供いただいた個人情報は、当社の「個人情報の取り扱いについて」(http://zimmerbiometdental.jp/privacy_policy/)に従って適切に取り扱います。
- ・ご登録いただいた個人情報は、本セミナーの運営のために利用させていただきます。また、利用目的の範囲内において、委託業者に個人情報の取り扱いを委託することがあるほか、講師に参加者名簿として提供することがあります。
- ・ご登録いただいた情報をもとに、今後のセミナー等のご案内をさせていただく場合があります。お預かりしている個人情報の開示、削除等のお申し出、その他お問い合わせにつきましては、左記お問い合わせ先までご連絡ください。